

ソプラノの皆様

こんにちは。

練習日誌、少し遅れましてすみません。

(今回は体調は崩してません…！p(^_^)q)

パートごとの声合わせや音楽作りなど、いよいよ演奏会を見据えてギアを一段上げる段階になってきました！
マスクも暑くなってきましたが、皆で一丸となって、今できる限りの「響友会合唱団」のソプラノの声をさらに響のある、素敵な声にしていきましょうね♪

練習日誌をお送りします。

////////////////////////////////////

●4月23日(土)14時00分～16時40分

●文化会館3階練習室B

●参加人数 S/9、A/15、T/3、B/4

全体の並びを、変更しました。

向かって左側から、ソプラノ・アルト・テノール・バス、という合唱のオーソドックスな形に戻して見ました。真ん中でアルトの内声の響きがしっかり聴こえてなかなか良かったです。しばらくこのままで続けてみます。

先週同様、発声の時に、高音は、どこか上の方一点に狙いを定めて当てるように声を出すというやり方、これからも続けていきましょう。

またこれから演奏会に向けて、一人一人がしっかりと声を出し、パートの声・音色を揃えていきましょう。

○虹

・♪ タ / タンタタ_アンタタ_アタター・ターの

リズムの箇所 各自もう一度きちんと整理して正確に歌いましょう

伴奏を聞いて聞こえてきた音に合わせるのではなく、指揮を見て合わせましょう。

ソプラノ 52小節「めざした」の「し」、遅れないように

・68小節「あざやかな」の「かな」、特にバス、スピード感持って

○花束

・出だし、テンポを掴んで乗り遅れないように！2小節目の「あたたかな」は、温かく明るい音色で。テンポ遅れるとその感じが出ません。

・リハーサル番号B アルト 言葉を立たせて丁寧に。「ひかり」の「ひ」をはっきり、「そっと」の「っ」は少し音を切って「よりそう」は温かくレガートに。

・19小節バス「かなしみ」はなめらかに、そしてクレッシェンド

・27小節三連符 タイの後の三連符の一つ目の音が長すぎると後ろの「けれど」がつまり、リズムがおかしくなります。ここは三連符の温かみが表現できるようにしましょう。(56小節同様です)

- ・ 29～30 小節「あなたとあなたの」
- 57～58 小節「わたしとわたしの」
- 67～68 小節「あなたとおなたの」
- 全てノンブレスで一息で
- ・ 34 小節「おもいます」全パート同じ音です。クレッシェンドの後ですが重くしすぎないで気持ちを込めて。(62、67 小節同様に)
- ・ 48～49 小節アルト 旋律だと自覚してしっかりと。
- ・ 57 小節 1 拍目の「る」は伸ばしすぎないで、八分休符しっかりと休んで、次の「わたしと…」はしっかりと揃えて出しましょう
- ・ リハーサル番号 I (68 小節) についている a tempo は、実際は一つ前の小節の「あなたと」と始まることから始まります。
- ・ 68 小節の「あなたと」の「と」は、29 小節とは異なり、次の拍の頭に入っています。力強くたっぷりと歌いましょう。
- ・ リハーサル番号 M 最後は長いので途中で息が無くならないよう、入る前、しっかりブレスしましょう。

○飛行機よ

- ・ リハーサル番号 B 指揮を見る！「だが」はさっくりと入り、サクサクと乾いた感じでリズム感良く。
- ・ リハーサル番号 D バス ピアノ伴奏よりも音は下です、p ですが、しっかり響きのある声で。
- ・ リハーサル番号 D 「みおろすと」の「と」になってからもずっとクレッシェンしっかりと。
- ・ リハーサル番号 E 最初の f は、希望を持ってしっかりと。その後、F、G と気持ちの動きを丁寧に歌いましょう。
- ・ リハーサル番号 I ソプラノからそれぞれのパートのクレッシェンドをしっかりと重ねていきましょう。
- ・ リハーサル番号 J の 1 小節前「い」は、アルトが「とり」と歌うまで他のパートは伸ばします、忘れずに！アルトはしっかりと f で入りましょう。
- ・ リハーサル番号 L、M カズクの f ではなく、飛行機に対しての羨ましい気持ちを込めて。
- ・ リハーサル番号 N できる限りなめらかに…。

○Benedictus

- ・ Hosanna と in excelsis は分けて、言い直すように歌いましょう
- ・ Hosanna の san は短くなりすぎないで、拍の長さのギリギリまで a 母音で響かせて。

○Agnus Dei

- ・ 46 小節～ pacem の語尾の m の発音しっかりと。
- ・ 51～53 小節アルト 先日の Credo 同様ホルンのイメージでしっかりテンポを刻む

○Kyrie

- ・ eleison 「エレーソン」ではなく「エレイソン」です。「エ」で伸ばした後「イ」を必ず忘れず発音しましょう。
- ・ 10～11、23～27 小節 ソプラノ・バス、メリスマは、しっかりお腹で支えて。

次の練習は、

4月30日

あいパル 3階多目的ホール

14時00分～16時40分

です。

稲垣朋子